



今号の厳選写真

★ 星に願いを ★

“東日本の復興を！！”の思いを込めて豪華に飾られた笹飾りから人々の温かい思いが伝わってきました。阿波踊り、かき氷、夜店にと多くの人々で賑わっていました。今年は何んな笹飾りが飾られているのか蒸し暑い夜、浴衣に着替えて、夕涼みがてらでかけてみては

撮影・寄稿
医事課・伊藤裕子



理念

病める人の立場に立った、患者さん中心の医療
地域の期待に応えられる、より良い医療サービスの提供
当院は社会医療法人としての社会的使命を認識し、患者さんの立場に立った質の高い地域医療の提供に努めます。



方針

1. 医療の質の向上による疾病の早期発見と治療
2. 個人の権利を尊重し、患者さんと共に考える医療の実践
3. 医療に関する安全管理の徹底
4. 包括的ケアシステムによるサービスの提供
5. 地域社会との連携の推進、強化
6. 健全経営による病院運営



村上記念病院

MURAKAMI MEMORIAL HOSPITAL



第3回スポーツレクリエーション大会

薬局 秋山夏代

6月16日(日)第3回スポーツ大会が西武体育館で開催されました。病院全体の団結力と他部署との仲が少しでも深まればと考え、今年度は初の試みでドッチボール大会を企画しました。前年度のスポーツと異なったため紆余曲折ありましたが、実行委員のみなさんの協力の下、この日を迎えることができました。参加人数が少ないのではないかと心配もありましたが、応援を含め100名以上の方に参加していただきました。



大会当日は、天気も良く、スポーツ日和となりました。熱中症にならないか心配でしたが、窓から気持ちの良い風が吹込んでいて、思っていたより涼しく一安心でした。練習したい方を募って、1週間前から練習するなど、みなさんの意気込みが何え、どのような試合になるか楽しみにしていました。

朝9時半から予定通り試合を開始しました。今回は、男女混合の1チーム12人構成で試合を行いました。試合が始まると、白熱したプレーが展開され、選手はもちろん応援席からも歓声が沸きあがっていました。真剣な表情でボールを投げたり、歓声を上げてボールから逃げたりして盛り上がっていました。結果、私が参加した『JIM』チームが優勝することができました。はじめて優勝できたのですごくうれしかったです。応援の方の熱い声援を受けるなか、みんなの力を一つに合わせてドッチボールを楽しめました。試合が連続して行われる場合もあり、ハードな試合もありましたが、始める前にラジオ体操を行い、きちんと準備体操ができていたためケガ人もなく無事終えることができました。勝ったチームも負けたチームも清々しい汗を流し、一緒に戦った仲間の絆を深め合えたと思います。



優勝 JIMチーム

翌日は、「筋肉痛です」という声と一緒に、「楽しかったです」などという嬉しい声もいただきました。みなさんに一致団結してもらおうと企画しましたが、企画する私達もより一層団結し合えたと思います。これからは是非ともレクリエーション大会に参加したいと思っています。参加してくださったみなさん、ご協力頂いたみなさん、ありがとうございました。

鹿島武臣・松倉とし子 デュエットコンサート開催

6月吉日、当院でボランティアコンサートを開催しました。鹿島さんはボニージャックスのメンバーの1人（音域はバリトン）、松倉さんはソプラノ歌手（拠点山形市）。お二人のハーモニーはととてもすばらしく、またトークもとても楽しかったです。患者さんや、家族の方、また地域の方々みんなが癒されたひと時でした。このようなコンサートは当院では初めての催しです。音響専門の方も来ていただき、本格的なコンサートでした。私達は不慣れなので、準備も接待も不十分であったとは思いますが、やさしく声をかけていただきました。短い時間ではありましたが、会場で聴かれた方々が口々に「楽しかった、良かった、また来たい」と喜ばれておりました。機会があるなら、このようなすばらしいコンサートをまた企画できたらいいなと思っておりますので、みなさんその時にもぜひお越しください。鹿島さん、松倉さん本当にありがとうございました。（企画広報委員会）



院内ボランティアを募集しています



当院では、地域に開かれた病院運営を行うことを目的に一人一人の患者さんを大切に思い健康回復とともに願って下さり、**無償の善意で定期的に活動していただける院内ボランティア**を募集しています。ボランティアの方には年1回の無料健診をうけていただいております。また、単発的な活動をしていただける方も歓迎いたします。

《お問合せ先・お申し込み先》

村上記念病院・地域医療連携室

TEL・0897-56-2300（代表）

0897-56-2281（直通）

脳神経外科・白石俊隆 医師が着任いたしました！

5月7日より、脳神経外科 白石俊隆先生が着任いたしました。診察日は月曜・木曜・金曜のいずれも午後と、火曜の午前です。出身は愛媛県松山市、愛媛大学医学部卒業。以下に先生の紹介をします。

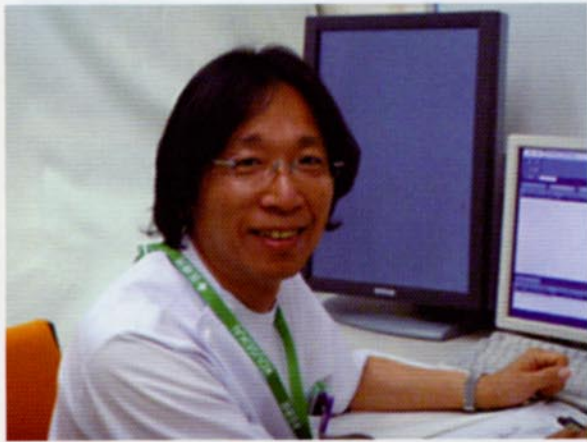
学 位：医学博士

認定資格：日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管治療学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医

所属学会：日本脳神経外科コンGRESS、日本脳卒中の外科学会、日本頸部脳血管治療学会、日本定位・機能神経外科学会、脳神経外科手術と機器学会、日本小児神経外科学会、日本脳ドック学会

専 門：脳外科全般、脳血管内治療（破裂脳動脈瘤、頸動脈ステント）、神経内視鏡、小児神経疾患、機能的脳神経外科（パーキンソン病、顔面けいれん、三叉神経痛不随意運動など）、間脳下垂体腫瘍、脳死臓器移植関連

なんだか、漢字ばかり並んで難しいですね、とにかくすごく勉強や研究をされているということですね\(@o@)/！ お話してみると、とっても気さくな方でした!(^^)! で、先生に一言ださ〜いとお願ひしてみました。二つ返事で快く引き受けてくれましたよ(^o^)



初めまして、脳神経外科の白石俊隆と申します。この西条市に来られたことは、何か運命的なものを感じます。と申しますのも、私は、松山市の生まれですが、私の祖先は西条市神戸洲之内甲あたりです。父方の祖父は、神戸小学校に通っていました。ですから、西条市は私のもう一つの故郷なのです。

私は、1992年（平成4年）に県立新居浜病院東予救命センターに脳神経外科を設立するために赴任し、たくさんの患者さんを診察し、手術いたしました。おそらく新居浜市の人口の10%の人と何らかのかかわりを持たせていただいたかもしれません。そのくらい濃厚につきあわせていただいたと思います。

もちろん、その当時、西条市からもたくさんの人に来院していただきました。

さらに嬉しい事は、今回村上記念病院に赴任してからも、当時から診察させていただいている患者さんに、継続して来院していただいている事です。

そして、前任地の済生会今治病院で診ていた患者さんも何人か来院していただいているので、誠に申し訳なく思ったりもしています。

平成19年までの15年間にわたって、県立新居浜病院でお世話になりました。

最も大きなイベントは、2007年（平成19年）2月13日に実施された愛媛県第1例目（国内51例目）の脳死臓器移植に携わったことです。あの時の、脳死判定はとってもストレスでした。テレビや新聞にも私が登場いたしました。すでに皆様はお忘れでしょうね。

私は、常にいろいろな最先端の脳外科治療にチャレンジしてきました。近代的な神経内視鏡を愛媛に導入したのも私です。2000年に東京女子医大に国内留学していた私は、機能的脳神経外科（パーキンソン病、ジストニアなどの不随意運動、脳卒中の後の痙縮などに対する脳神経外科的な治療）を中心に学びながら、当時女子医大で活躍していた上川秀士先生に神経内視鏡を教えていただきました。それが、きっかけとなり、2001年に、県立新居浜病院で、愛媛で第1例目となる神経内視鏡（軟性鏡）による、水頭症の手術を実施できたのです。

この村上記念病院でも、藤田仁志副院長と水頭症の内視鏡手術をさせていただいたのは、私が県立新居浜病院に在任中のことです。

血管内治療は今では当たり前のように実施していますが、当時はまだまだ始まったばかりで、専門医制度が始まった第1回目に合格し一生懸命に治療をしていきました。脳神経外科専門医番号は2200番ですが、血管内治療専門医番号は101番とさすがに番号が若いです。この血管内治療では、切らずに治せる治療として、頸動脈ステントや脳動脈瘤のコイル塞栓術が代表的な治療ですが、今後も益々期待される治療法です。

まだまだ、書きたい事はたくさんございますが、今回はこの辺りでひとまず筆を置きたいと思います。村上記念病院でも私のできる限りの力を出し切って、この地域の人々のお役に立てる様に頑張ってお脳神経外科治療を実践していきたいと思っておりますので、末永くよろしくお願い申し上げます。

市民公開講座

脳卒中を理解しよう

平成25年
9月11日(水)
11:00~12:00

入場無料

どなたでも
ご参加いただけます。

村上記念病院内
6階多目的ホール



-講師-
村上記念病院 脳神経外科
白石 俊隆先生

主催：村上記念病院 企画広報委員会
お問い合わせ：村上記念病院受付
TEL 0897-56-2300

病棟紹介 (5病棟・介護療養型医療施設)



企画広報委員 5病棟主任・野中利恵

私の働いている職場は村上記念病院の5階にある介護療養型医療施設です。早いもので、もう7年の月日がたちました。5病棟は、何科なの？ どういう患者さんが入院しているの？ と時々聞かれることがありますので、簡単にご紹介したいと思います。

5病棟は、介護型施設であり、介護保険施設の一つになります。介護療養型医療施設とは要介護認定者で病状は安定していますが、長期にわたる療養（常時医学管理）を必要とされる方、及びショートステイを希望される方が入院することができます。介護度に応じて医療サービス、介護サービス及び機能訓練など総合的なケアサービスを行い寝たきり防止をするなど可能な範囲での自立化を目標とし、安心して日常生活が行える様に支援します。

入所途中で、積極的な治療、状態が悪化した場合、一般病棟に移り、医療保険での治療を受けることもできます。

医療施設ですので、痰の吸引や、水分や栄養をチューブで胃に入れる胃瘻、褥瘡（床ずれ）、経管栄養、尿管カテーテル、酸素吸入など、医療的処置が必要な入所者が多く、現実的には、ターミナルケアや看取りの場となる事も少なくありません。

病床数50床、スタッフは総数32名（看護師と介護職員）、新人から超ベテランまで、毎日明るく元気をモットーに頑張っています。

高齢化に伴う要介護者の増加や、介護する人の高齢化に伴い介護のニーズも増大しており、利用者や家族が施設を選択する時代です。いかに真心のこもった質の高いサービスが提供できるかが問われてきています。看護・介護の知識、技術の向上はもちろん、村上記念病院の理念である、「患者さん中心の医療」が行なわれることを目標におき、患者さんに視点をあてたやさしい療養環境と手厚い看護ケア、介護ケアが実践できる5病棟でありたいと思っています。

毎日の現場を支えている一人一人のスタッフに感謝し、私も患者さんの為にぶれない看護をしていきたいと思っています。



ボランティアさんのフラダンス



ボランティアさんとクリスマス会



リハビリルーム



ロビーで食事



当院のオススメ小皿料理

～栄養課～



今回より、当院の献立であるオススメの小皿料理を紹介していきます

～えのき茸とかまぼこのおろし和え～

エネルギー 30kcal 食物繊維 1.5g

<材料>

| | | | |
|------|-----|------|----|
| 大根 | 50g | 薄口醤油 | 3g |
| かまぼこ | 15g | 酢 | 2g |
| えのき茸 | 15g | 砂糖 | 1g |
| 小ねぎ | 少量 | かつお節 | 少々 |

<作り方>

- ① 大根をすりおろす。
- ② えのき茸を2～3cmに切り、茹でる。
- ③ かまぼこは拍子きり、小ねぎは小口切りにする。
- ④ ②③を大根おろしで和え、調味料を合わせる。
- ⑤ 皿に盛り付け、かつお節をのせてできあがり。



☆ワンポイント☆

今回紹介した献立ではえのき茸を用いていますが、なめこやしめじなど食物繊維を多く含むきのこ類のほか、オクラやキュウリに材料を変えてアレンジもできます。また、お酢を使った料理は疲労回復に効果的です。お酢に含まれているクエン酸には体内のエネルギー代謝機能の効率を良くし、疲労物質である乳酸を分解する働きがあります。クエン酸はお酢のほか、レモン、梅干など酸っぱい食品に含まれています。夏バテをせず暑い夏を乗り切るために、しっかりとした食事を心がけていきましょう。



健康教室予定表 H25年7～12月

糖尿病教育委員会

場所：6階多目的ホール 時間：午前11：00～約30分

| 日時 | テーマ | 担当講師 |
|-----------|-------------------------------|---------|
| 7月12日(金) | 夏だ！暑～い！水分が恋しいけど・・・糖分は大丈夫？ | 4・5F看護師 |
| 7月25日(木) | 脳卒中の外科的治療 | 脳外・白石Dr |
| 8月 9日(金) | 糖尿病と脳梗塞・心筋梗塞 食事会あり | 検査技師 |
| 8月22日(木) | メタボと生活習慣病 | 脳外・白石Dr |
| 9月13日(金) | お酢のパワーで健康力アップ | 透析室看護師 |
| 9月26日(木) | お薬との上手な付き合い方 | 薬剤師 |
| 10月11日(金) | アルコールについて | 2F看護師 |
| 10月24日(木) | 肩こってませんか？一緒に体操しましょう | 作業療法士 |
| 11月 8日(金) | 糖尿病と歯周病 | 歯科衛生士 |
| 11月28日(木) | 糖尿病予防にカフェインは効くの？ 食事会あり | 3F看護師 |
| 12月13日(金) | 血糖値と砂糖の関係 | 管理栄養士 |
| 12月26日(木) | 手洗いをしよう！ | 内科外来看護師 |

食事会に参加希望の方は、1ヶ月前に内科外来へ予約において下さい。